

研究課題名 血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する肝移植の手術成績・治療経過に関する全国調査

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科消化器移植外科学 教授 大段秀樹

対象者

HIV/HCV 重複感染の患者さんで、広島大学病院消化器移植外科で 1997 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日までに肝移植（脳死・生体）を受け、共同研究施設に通院または入院した移植患者。

意義・目的

全国の肝移植実施施設へ肝移植後の重複感染者のアンケート調査（围術期情報、予後）を行う事で、これまでの当該患者に対する肝移植の問題点を明らかにし、今後の肝移植適応や围術期管理の向上、治療成績（生存）に寄与すると思われま

す。日本全国にて血液製剤による重複感染者に対して、約 20 例の肝移植（脳死、生体）が行われていますが、肝移植後の生存期間が明らかではありません。今回、全国調査にて、肝移植後の生存期間と、それに関連性のある因子を明らかにすることが目的です。

方法

本研究は肝臓疾患に対する術前検査日から最終観察日までの情報を診療録より収集します。また、該当する患者を対象者として登録し、診療録から情報を取得します。

共同研究機関

機関名 ◎長崎大学移植・消化器外科 責任者名 江口晋 役割等 統括

機関名 岩手医科大学 外科 責任者名 新田浩幸 役割等 研究遂行

機関名 広島大学 消化器・移植外科 責任者名 大段秀樹 役割等 研究遂行

機関名 三重大学 肝胆膵外科 責任者名 水野修吾 役割等 研究遂行

機関名 北海道大学 臓器移植医療部 責任者名 嶋村 剛 役割等 研究遂行

機関名 琉球大学 消化器・腫瘍外科 責任者名 高槻光寿 役割等 研究遂行

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院 医系科学研究科 成人健康学 教授 田邊 和照

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。(モニタリング有の場合)ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

大平 真裕

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel: 082-257-5222

広島大学病院 未来医療センター 職名 助教 大平 真裕

研究機関：広島大学